

奈良県感染症情報

平成 27 年 第 46 週(11 月 9 日～ 11 月 15 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報
- 月報告対象疾患報告状況(平成27年10月報)

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	6.15	(4.18)	↑	→	↑↑	↑↑
2	RS ウイルス感染症	2.50	(1.88)	↑	↘	↑↑	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	1.53	(1.32)	↗	↑	→	→
4	伝染性紅斑	0.44	(0.21)	↑	↑	↗	↓
5	咽頭結膜熱	0.35	(0.18)	→	↘	↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎は大きく増加しています。これからはノロウイルスによる感染性胃腸炎が増加する時期です。ノロウイルスは感染力が非常に強いので、高齢者施設、幼稚園、学校等の集団生活の場では特に手洗い・うがいを励行しましょう。

RS ウイルス感染症は、例年よりかなり高いレベルで推移しています。症状は、軽い風邪様の症状から重い肺炎とさまざまですが、乳児期、特に生後数週間～数か月の子どもは重症になることがあるため、感染しないように注意してあげてください。大人自身も健康に気を配り、家庭に感染症を持ち込まないことが、子どもを感染症から守ることにつながります。

インフルエンザの報告は5例ありました。伝染性紅斑や流行性耳下腺炎の報告が続いています。

通勤・通学、職場、学校、塾など人が多く集まるところで感染は広がります。手洗い・うがい、咳エチケットを心がけましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

外来患者数はインフルエンザなどの予防接種を除けば増加していない。

インフルエンザは当院ではまだでていない。流行性耳下腺炎が保育園児で流行が続いている。

RSウイルス感染症、溶連菌咽頭炎、アデノウイルス感染症、伝染性紅斑等が散見される。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は増加。

発熱、乾性咳嗽が頻回のRS様・マイコプラズマ様の例が多い。

8才女児で咳嗽少なく発熱もない例でかすかな聴診所見から診断の典型的X線像・WBC・CRP増加の例があった。

RS気管支炎は検査実施例は少なく確定例は少ないが乳幼児で疑い例が多い。

感染性胃腸炎が流行。嘔吐が主のノロ様例が多いが高熱の出る例も多い。

ロタはなかった。

伝染性紅斑が流行中、35歳の母親例が2例あり発疹のほかに全身倦怠、関節痛を伴った。

流行性耳下腺炎も増加中。

インフルエンザはまだなく検査実施例も少ない。

南部地区(県立五條病院小児科)

ノロウイルス胃腸炎が増加してきている。症状は例年と同じく嘔吐中心で、熱や下痢を伴うこともある。

一部保育所中心に流行性耳下腺炎の流行が続いている。5日経過し登校再開後に頭痛・発熱訴える例もあるので、しばらく注意するよう説明している。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 27 年 第 46 週 11 月 9 日 ~ 15 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ	5 (0.09)		2 (0.13)	2 (0.18)			1 (0.33)	
小児科定点数	34	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症	85 (2.50)	12 (1.71)	6 (0.60)	20 (2.86)	47 (6.71)			
咽頭結膜熱	12 (0.35)	1 (0.14)	3 (0.30)	1 (0.14)	7 (1.00)			
A群溶連菌咽頭炎	52 (1.53)	27 (3.86)	12 (1.20)	6 (0.86)	5 (0.71)		2 (1.00)	
感染性胃腸炎	209 (6.15)	28 (4.00)	22 (2.20)	96 (13.71)	55 (7.86)	3 (3.00)	5 (2.50)	
水痘	11 (0.32)	4 (0.57)	6 (0.60)		1 (0.14)			
手足口病	3 (0.09)				2 (0.29)		1 (0.50)	
伝染性紅斑	15 (0.44)	6 (0.86)	1 (0.10)	3 (0.43)	5 (0.71)			
突発性発しん	12 (0.35)	6 (0.86)	1 (0.10)	4 (0.57)	1 (0.14)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	1 (0.03)		1 (0.10)					
流行性耳下腺炎	7 (0.21)	1 (0.14)	1 (0.10)	1 (0.14)	3 (0.43)	1 (1.00)		
眼科定点数	9	7	3	2	2	0	7	
急性出血性結膜炎							-	
流行性角結膜炎							-	
基幹定点数	6	7	2	7	7	7	0	
細菌性髄膜炎							-	
無菌性髄膜炎							-	
マイコプラズマ肺炎	5 (0.83)	2 (2.00)			2 (2.00)	1 (1.00)	-	
クラミジア肺炎							-	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							-	

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核7件(奈良市1、郡山1、中和3、内吉野2)
3類感染症	腸管出血性大腸菌1件(中和)
4類感染症	
5類感染症	風しん1件(奈良市)

❖ 第46週のトピックス ❖

ヒトパピローマウイルス感染症の予防接種後に症状が生じた方に対する相談窓口
「について(厚生労働省HP)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou28/madoguchi/index.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

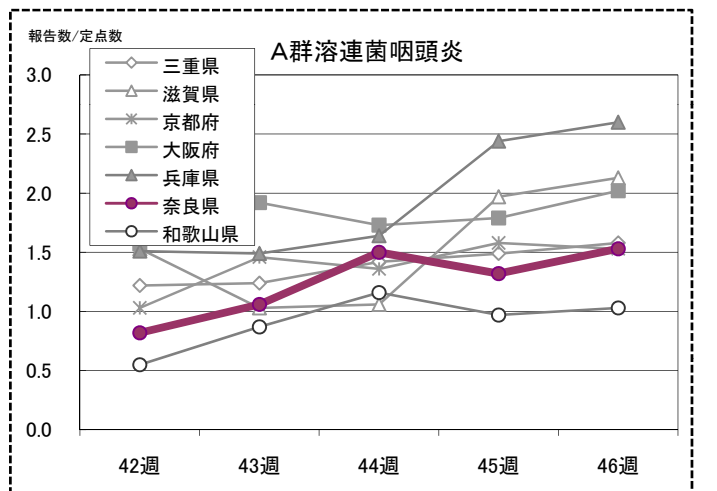
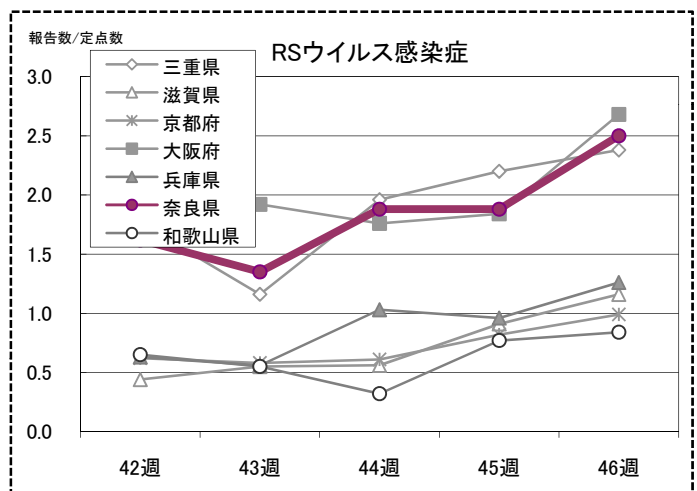
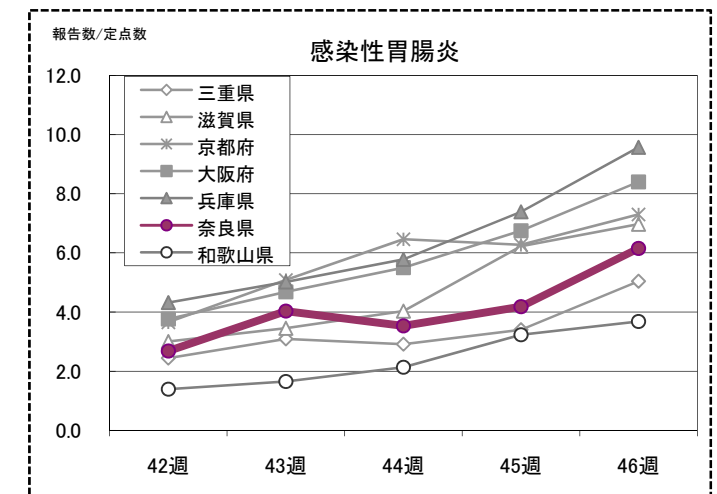
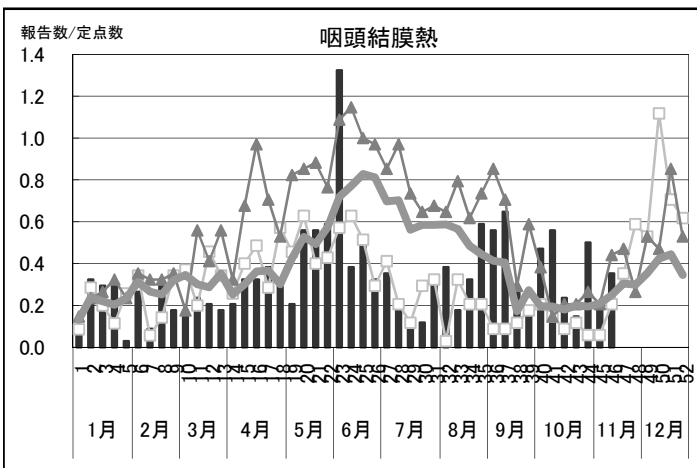
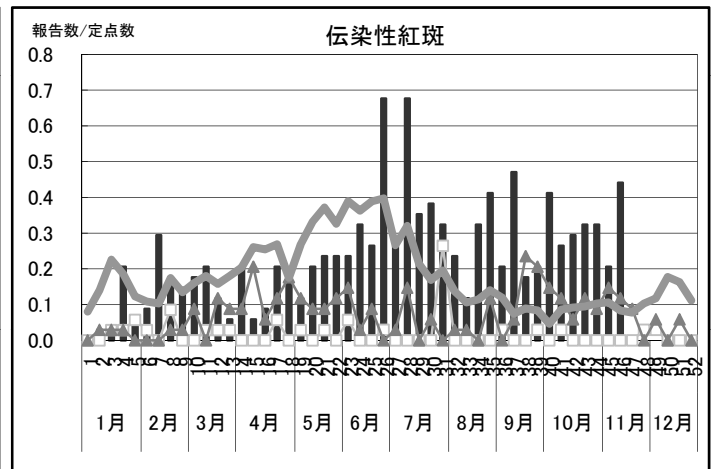
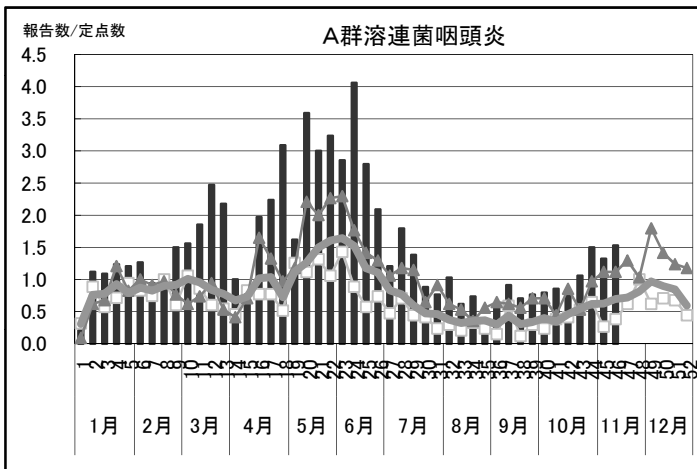
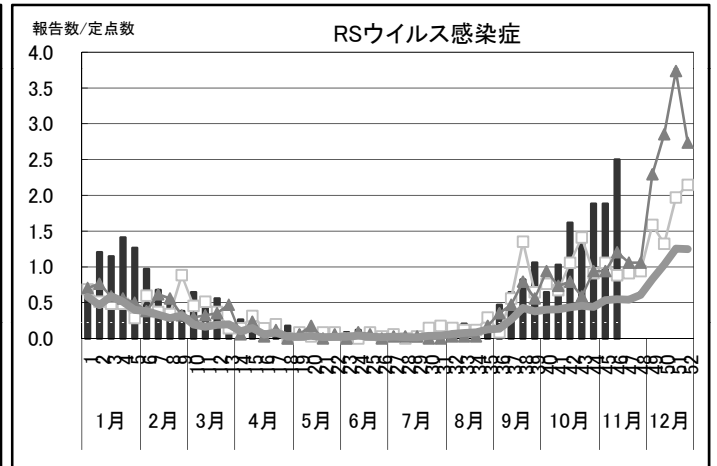
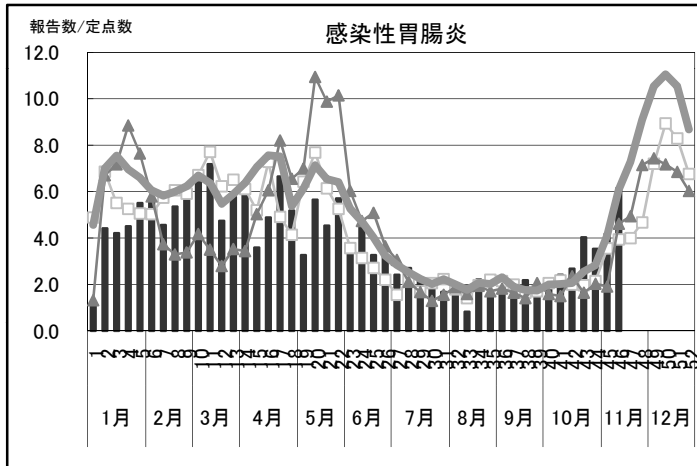
上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数 ÷ 定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男														1							1	3988
	女						1									1			1		1	4	4006
RSウイルス感染症	男	4	7	12	10	4	1	2														40	442
	女	6	12	14	8	2	1	2														45	449
咽頭結膜熱	男	2			1								1									6	277
	女	1	1	3						1												6	241
A群溶連菌咽頭炎	男			2	1	1	1	4	4	2	3	2	5									25	1259
	女			1	2	5	3	4	4	4	3	1	3		1							27	1101
感染性胃腸炎	男	2	10	21	15	9	11	8	5	7	10	3	7	1	2							111	3098
	女	1	6	20	19	6	5	4	9	3	11	5	3	1	5							98	2877
水痘	男		1	1	2	1		2														7	222
	女			1	1	1		1	1													4	206
手足口病	男																						2298
	女			1	1								1									3	1949
伝染性紅斑	男		1	1	1	1		2	2	1			2									11	182
	女				1			1	1		1											4	193
突発性発しん	男		2	3	1																	6	354
	女		1	5																		6	324
百日咳	男																						6
	女																						5
ヘルパンギーナ	男					1																1	358
	女																						319
流行性耳下腺炎	男				1	1	1															3	118
	女								1	1	1		1									4	128
急性出血性結膜炎	男																						3
	女																						2
流行性角結膜炎	男																						61
	女																						58
細菌性髄膜炎	男																						4
	女																						5
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						2
マイコプラズマ肺炎	男			1																		1	36
	女				2	2																4	37
クラミジア肺炎	男																						1
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						60
	女																						48

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H27 ▲ H26 □ H25 〰 過去10年平均



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 27 年 10 月

性感染症定点数	北部		中部		南部		上段：報告数														合計	累計					
	奈良県	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野	(下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数																			
								年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-			
性器クラミジア感染症	11 (1.22)	2 (0.67)	2 (1.00)	4 (2.00)	3 (1.50)	男					1	1	2	2		1	1							8	70
							女					1		2										1		3	22
性器ヘルペス	2 (0.22)				2 (1.00)	男								1										2	8
							女																			1	11
尖圭コンジローマ	5 (0.56)		4 (2.00)		1 (0.50)	男							1			1					1			4	25
							女											1								1	15
淋菌感染症	4 (0.44)	2 (0.67)	2 (1.00)			男							1	1	1	1								4	37
女																											
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	40 (6.67)	9 (9.00)	23 (11.50)	7 (7.00)	1 (1.00)	男											1	1	2	1	2	2	18	27	219
							女					1				1					1		2	2	8	13	113
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	10 (1.67)		4 (2.00)	2 (2.00)	4 (4.00)	男		2															2	4	37
							女	1	2														1		2	6	26
薬剤耐性緑膿菌感染症						男																			3
							女																				

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

